

## 団体の概要書

|                 |   |               |          |
|-----------------|---|---------------|----------|
| 団体名             | (ふりがな) とくていひえいりかつどうほうじん あーす・エコ<br>特定非営利活動法人 アース・エコ  |               |          |
| 主たる事務所<br>の所在地  | 〒226-0002<br>横浜市緑区東本郷二丁目2番13号   |               |          |
| 代表者氏名           | (ふりがな) きたむら ひろこ<br>北村 博子  | 構成員数          | 24人      |
| 設立(活動開始)<br>年月  | 2000年 2月  | NPO法人<br>認証年月 | 2006年 1月 |
| 主な活動地域          | 横浜市を中心とする神奈川県内  |               |          |
| ホームページ<br>の有無   | ○有 (URL <a href="http://www.npo-earth-eco.com/">http://www.npo-earth-eco.com/</a> ) / 無   |               |          |
| 団体の<br>設立経緯     | 行政、大学、企業、市民団体などとの協働により、環境教育・環境学習の推進、地球温暖化対策や省エネルギーの普及啓発、環境ボランティアや教員の育成に取り組むことなどを目的に、有志により2000年2月に任意団体を結成し、活動を開始した。<br>2006年1月、NPO法人の認証を受け、以来、一貫して活動を継続している。   |               |          |
| これまでの<br>主な活動実績 | 平成23年度の主な活動実績<br>・横浜市環境出前講座等で、横浜市内の小学校6校に合計14日、26回の出前講座を実施、県内の小学校4校に合計7日、16回の出前授業を実施。<br>・横浜市緑区、神奈川区の地区センターで合計4日、環境学習講座開催及び開催協力実施、県内の公共施設3会場で環境学習講座を3日開催協力実施。<br>・横浜市港北区主催のイベント開催に協力出展、エコプロダクツ等4イベントに参加。<br>・横浜市地球温暖化対策推進協議会の活動に積極参加。 |               |          |
| 事業年度            | 4月 1日 から 3月 31日   |               |          |
| 活動分野            | *下表「活動分野別リスト」の番号を御記入ください。<br>7  |               |          |

## ○活動分野別リスト

|                 |             |                  |
|-----------------|-------------|------------------|
| 1 保健・医療         | 7 環境        | 13 情報化社会         |
| 2 福祉            | 8 災害救援・地域安全 | 14 科学技術          |
| 3 生涯学習・社会教育     | 9 国際交流・国際協力 | 15 経済活動・消費者の保護   |
| 4 まちづくり         | 10 人権・平和    | 16 職業能力開発・雇用機会拡充 |
| 5 文化・芸術         | 11 男女共同参画   | 17 市民活動支援        |
| 6 スポーツ・レクリエーション | 12 子どもの健全育成 | 18 その他           |

|                               |  |
|-------------------------------|--|
| 総事業費のうち非営利活動に係る費用の占める割合       | <p>根拠：平成23年度収支決算書</p> <p>① 事業費 <u>1,212,584</u>円</p> <p>② 非営利活動に係る事業費 <u>1,212,584</u>円</p> <p>②/① = <u>100</u>% (小数点以下は四捨五入)</p>  |
| 貴団体の活動において、NPOならではの特性を活かしている点 | NPO 法人として期待される社会的責任を果たすことが重要と認識し、自治体、学校、公共施設等の活動に少しでも多く貢献できるよう、真摯に活動に取り組んでいる。これにより、自治体、公共施設等からの信頼と協力を得て、協働による活動の機会も増えてきている。  |
| 貴団体の活動を多くの市民に周知するためにやっていること   | <p>活動実施の都度、ホームページに活動報告を掲載。</p> <p>月に2回メールマガジンを発行し、実施した活動の報告を掲載。</p> <p>イベントへの出展に際しては、弊会の活動を紹介するパネル展示やチラシの配布により、弊会の知名度の向上を図っている。</p>  |
| 貴団体の活動における現在の課題               | 現在は小学校等への学校出前授業・講座や地区センター等で開催する地域環境学習講座等が活動の中心で、子どもを対象としつつ家庭への少エネ普及啓発も目的とした事業が主体になっているが、学生や主婦等を対象とした普及啓発活動等の事業を増やし、より広範な年齢層に対して地球温暖化防止、省エネ、節電を訴えていく必要があると考えている。                                      |
| 貴団体の活動の将来展望                   | 原発事故を契機にエネルギー問題に対する市民の関心も高まっており、地球温暖化の影響による異常気象の増加により、地球環境問題に対する市民の関心が更に高まるものと考えられる。子ども対象の啓発活動は引き続き重要と考え注力していくが、これに加えて一般市民を対象に、省エネ・節電実践の啓発推進活動を展開する。これらの活動を通じ、学生や主婦層にも弊会の活動への参画を促し、活動の幅を一層広げることができる。 |
| 当基金に登録を希望する理由                 | 現在は学校出前授業・講座や地域環境学習講座等、自治体等からの受託事業による収入に依存する部分が多いが、受託事業は年々削減される傾向にある。今後は事業資金に占める寄附金、助成金の割合を増やして活動の基盤となる収入を安定化させるとともに、より広範な独自事業の展開を可能とすることが重要と考えている。  |
| 貴団体が当基金をPRするためにできること          | <p>ホームページに貴基金の紹介を掲載して寄付を呼び掛けるとともに、貴基金ホームページへのリンクを張る。</p> <p>メールマガジンに貴基金の紹介記事を掲載し、読者からの寄付を呼び掛ける。</p> <p>イベント等に出展する際に、貴基金を紹介するパネル掲示や、パンフレット配布などにより、来場者に寄付を呼び掛ける。</p>                                   |
| 市民に対するPR                      | <p>*市民に向け PR メッセージをお書きください。</p> <p>『子どもたちと地球の未来のために』を合言葉に、持続可能な社会の実現をめざし環境教育を通じて人づくり・地域づくりをしています。 <a href="http://www.npo-earth-eco.com">http://www.npo-earth-eco.com</a> をご覧ください。</p>               |
| 確認事項                          | <p>この申請書に記載する事項に間違いありません。</p> <p>代表者氏名 <u>北村 博子</u> 印</p> <p>(氏名自署の場合は印不要)</p>   |

※ この書類は、横浜市市民活動推進条例第 12 条第 4 項の規定に基づき、一般の閲覧に供しなればなりません。